

山行NO. 1547

日時 2013.05.12(日) 快晴

山域 富士山(3776m)

標高差 富士宮口五合目2380m~九合目3400m=約1020m

参加者 登山班=村山忠、勝又陽、浜道、石和 スキー班=後藤、諏訪部



1. 五合目駐車場発 6:35~元祖七合目 9:00

一面の雲海を見下ろして駐車場を出発。下界は曇天だったがここは雲の上快晴だ。出発してすぐの雪渓をトラバース気味に登り六合目に向かうためアイゼンをつけることになった。六合目を過ぎ登山道を登って行くが雪のない場所はアイゼンを着けているとかなり歩きにくい。2600m付近、宝永山が真横に見える。新七合目に到着かるく休憩をとる。この後、元祖七合目、山口山荘までいっきに登りしっかりと休憩をとる。

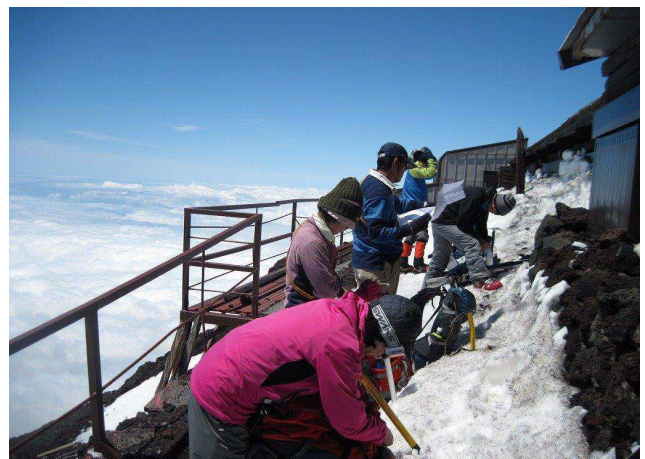


2. 八合目 池田館 3200m 10:10

3100m付近 宝永第二火口が真下に見える。スノーボーやスキーをかついで登って来る人達もかなり目に付く。このあたりまで来ると雪もかなり残っているがスキーですべり降りられる場所が少ないようだ。八合目の山荘が見えてきた。若者が一人下ってきたがアイゼン、ピッケルどころかストックさえも持っていない。何を考えているのか呆れ返ってしまう。Sさんが一言注意をしていた! どうやら八号五勺付近でさすがにあきらめて引き返して来たようだ。



元祖七合目



八合目



10:10 八合目着。休憩タイム。さらに上をめざすが雪が多いので登り易い。3300m付近で記念写真を撮り九合目をめざす。

### 3、 九合目～五合目駐車場

11:20 九合目に到着。ここで食事を摂りこの後どうするかを話し合うが時間の制約もあり頂上は、あきらめて登山班とスキー班に別れて下山することになった。下山はさすがに早いですがスキー班ははるかに早い、登山班が先行したがあっというまにおいていかれてしまった。登山班は途中、HさんのアイゼンがはずれたりIさんの履き直したアイゼンのベルトがゆるく締め直したりしながら和気あいあいと下山。途中まだ登ってくる人達がけっこういたが、いったい何時に下りて来るのだろうと考えてしまった。スキー班を待たせてしまったが予定より若干早めに無事に駐車場に到着。

頂上まで行けなかったのは残念ですが、皆さんお疲れ様でした！



Hさん・Iさん



九合目



Sさん





#### その他の記述（後藤）

1. この日、下界は曇・霧。富士山の天気は？で五合着だったが、富士山の天気は来てみないと分からない。上界は晴で来て良かった。勿論、昨年のように逆もある。
2. 登山届は事前に県警に提出済。現場の対応は？と思ったが、何もなく拍子抜けだった。
3. 六合下でスキーを担いで下って来る輩が二名。聞けば「雪がない」だった。
4. 六合に上ったら雪が全くない。昨年はここまで滑れたのに……。ガッカリだった。そんな訳でもないだろうが、連休・その後の行事の疲れも相まって、全く力が出ず最悪の体調だった。
5. 九合で何処かのオジサンと交流。下から我々と前後して壺足・シールで上ってきた方だ。ちょっと洗練された感じ。聞けば横浜から来て毎年上っているという。今日も頂上に行くという。重いスキーで流石に疲れた感じだった。  
失礼ですがお歳は？に「66歳」といった。ワオ～、22年ですか、同級生だ。感激！思わずハグしてしまった。ついでにお名前は？に「K藤」です。ヤホ～、では同族ですね、で握手。また何処かでお会いしましょうで別れた。いつまでも頑張ってもらいたいですね。
6. 私は調子がイマイチだったので若い衆に頂上を促したが結局断念。この場合、信頼できるSLが引率出来れば理想的。それがまだ組織出来ていないのは残念。ま、せめてI君でもいれば……。
7. 上部スキーはサイコーだった。速すぎて写真を撮るヒマがない。七合で横断道に出て隣の沢に移動。しかしこの沢は最悪の雪。上部は旧雪に新雪が積もり綺麗だったが、ここは新雪が積もらなかったようだ。騙し騙し下ったが中間部でお終い。ここから雪を拾いながらスキーを背負って下る。今年の表富士のスキーは終わった。
8. 登山班は予定より30分早く下山。よく歩きました。

以上